

中小企業省力化投資補助事業

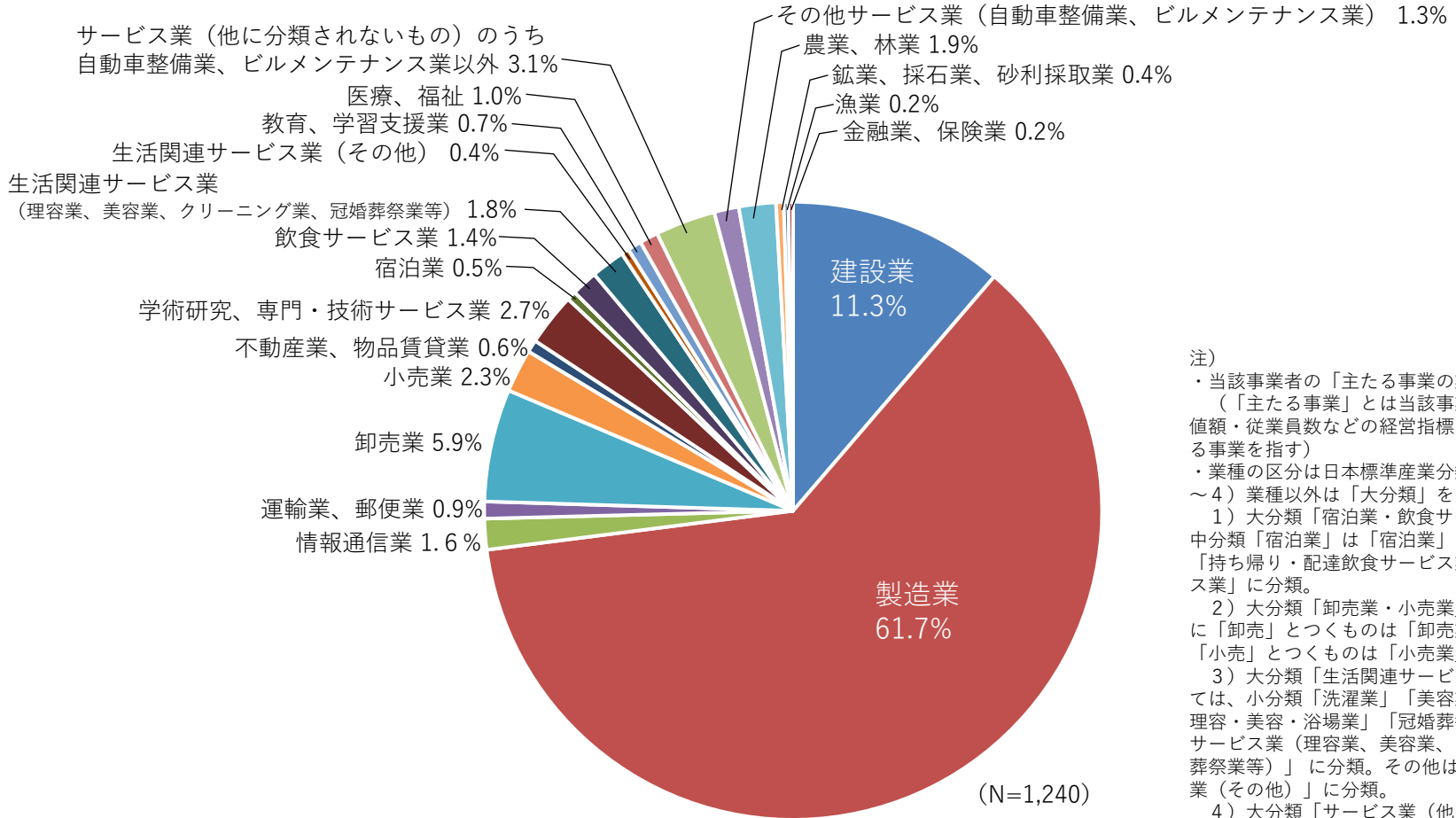
一般型公募（第1回） 採択結果について

令和7年6月16日

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

- 建設業・製造業の採択者が多い。

主たる業種別の採択件数割合



注）
・当該事業者の「主たる事業の業種」を基に集計。
（「主たる事業」とは当該事業者の売上高・付加価値額・従業員数などの経営指標の割合が最も多く占める事業を指す）
・業種の区分は日本標準産業分類を参照。以下の1）～4）業種以外は「大分類」をベースで分類。
1）大分類「宿泊業・飲食サービス業」については、中分類「宿泊業」は「宿泊業」に分類、「飲食店」「持ち帰り・配達飲食サービス業」は「飲食・サービス業」に分類。
2）大分類「卸売業・小売業」については、中分類に「卸売」とつくものは「卸売業」に分類。中分類に「小売」とつくものは「小売業」に分類。
3）大分類「生活関連サービス業、娯楽業」については、小分類「洗濯業」「美容業」「その他の洗濯・理容・美容・浴場業」「冠婚葬祭業」は「生活関連サービス業（理容業、美容業、クリーニング業、冠婚葬祭業等）」に分類。その他は「生活関連サービス業（その他）」に分類。
4）大分類「サービス業（他に分類されないもの）」については、中分類「自動車整備業」と細分類「ビルメンテナンス業」は「その他サービス業（自動車整備業、ビルメンテナンス業）」に分類。その他は「サービス業（他に分類されないもの）のうち自動車整備業、ビルメンテナンス業以外」に分類。

- 47都道府県全てにおいて採択事業者が存在するが、特に大阪府、愛知県、東京都の採択件数が多い。

都道府県別の採択件数・割合

都道府県		採択
北海道	北海道	43 3.5%
	青森県	10 0.8%
	岩手県	4 0.3%
	宮城県	4 0.3%
	秋田県	4 0.3%
	山形県	14 1.1%
	福島県	8 0.6%
	茨城県	21 1.7%
東北	栃木県	24 1.9%
	群馬県	32 2.6%
	埼玉県	56 4.5%
	千葉県	29 2.3%
	東京都	93 7.5%

都道府県		採択
関東	神奈川県	33 2.7%
	新潟県	27 2.2%
	山梨県	12 1.0%
	長野県	35 2.8%
	静岡県	46 3.7%
	富山県	19 1.5%
	石川県	37 3.0%
中部	岐阜県	37 3.0%
	愛知県	108 8.7%
	三重県	39 3.1%
	福井県	22 1.8%

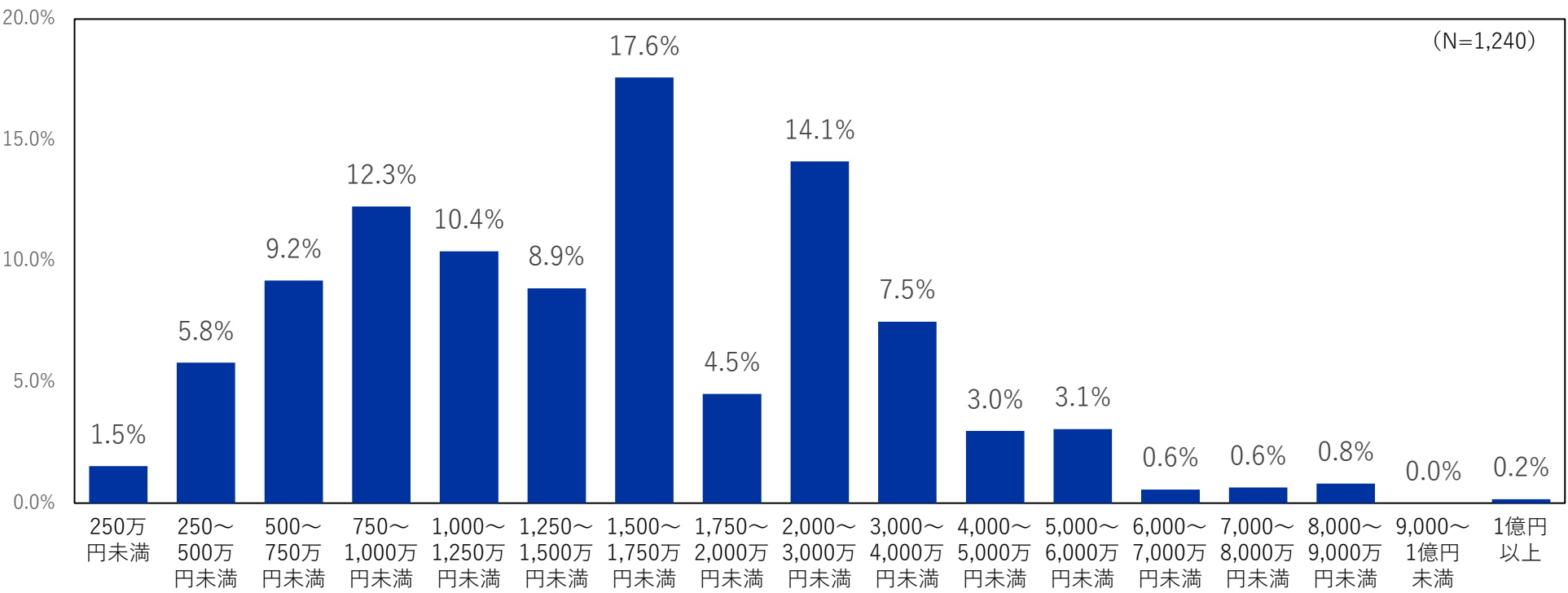
都道府県		採択
近畿	滋賀県	29 2.3%
	京都府	31 2.5%
	大阪府	124 10.0%
	兵庫県	47 3.8%
	奈良県	11 0.9%
中国	和歌山県	15 1.2%
	鳥取県	2 0.2%
	島根県	6 0.5%
	岡山県	21 1.7%
	広島県	28 2.3%
四国	山口県	11 0.9%
	徳島県	4 0.3%

都道府県		採択
四国	香川県	10 0.8%
	愛媛県	9 0.7%
	高知県	3 0.2%
九州	福岡県	49 4.0%
	佐賀県	7 0.6%
	長崎県	14 1.1%
	熊本県	20 1.6%
	大分県	11 0.9%
	宮崎県	10 0.8%
	鹿児島県	8 0.6%
沖縄	沖縄県	13 1.0%
合計		1,240 100.0%

注) 表内の上段は採択件数、下段は全体の採択件数に対する都道府県毎の採択割合。

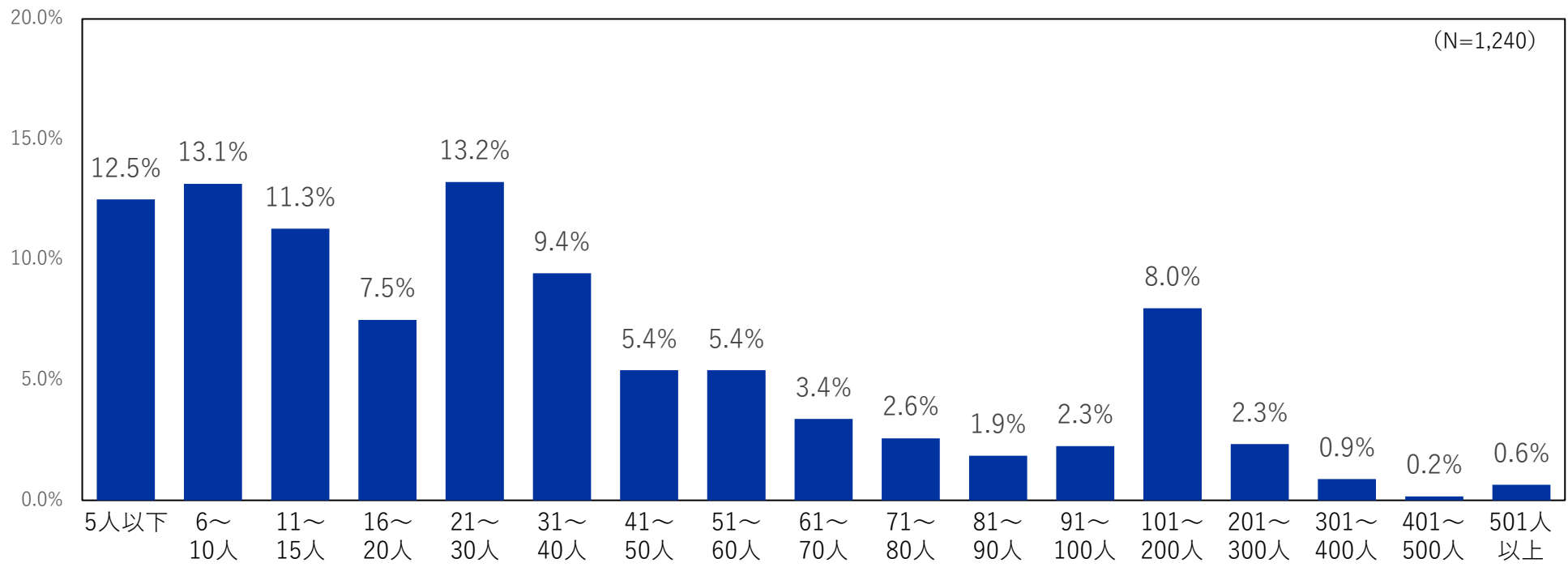
- 1,500万円以上～1,750万円未満が最も多い。

採択者における補助金申請額の分布



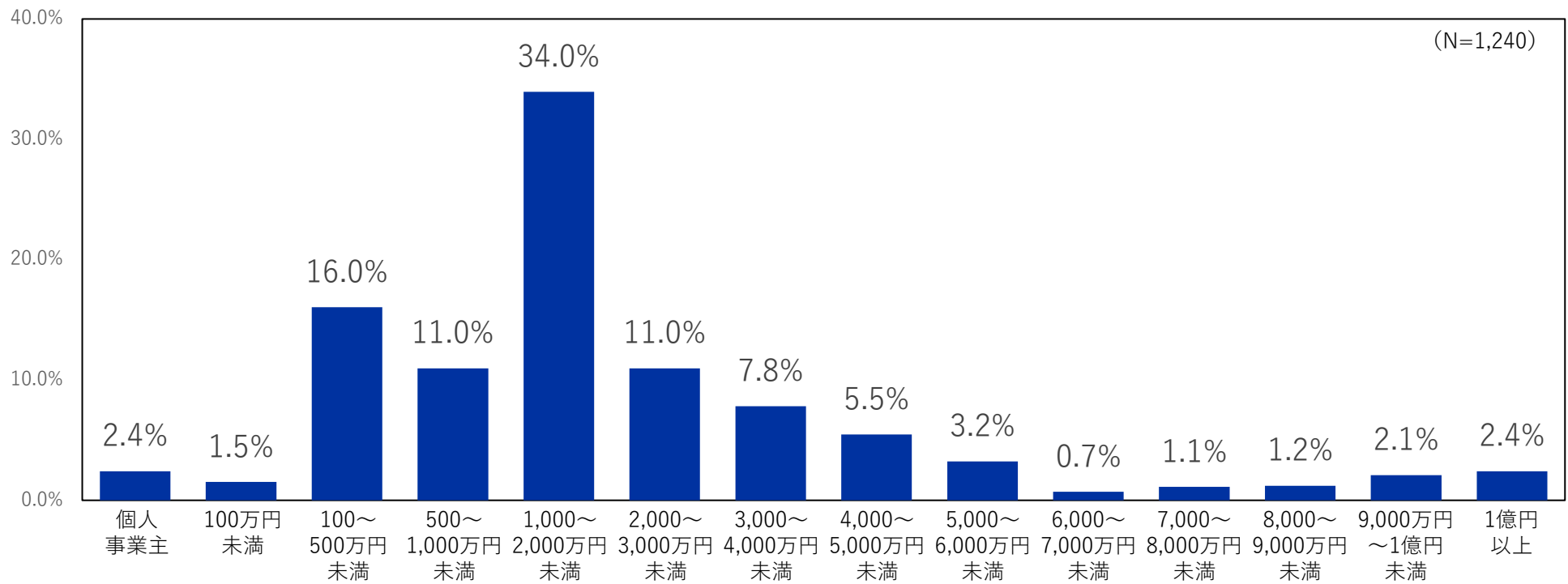
- 21～30名以下が最も多い。

従業員数別の採択件数割合



- 1,000万円～2,000万円未満が最も多い。

資本金別の採択件数割合



注)
個人事業主は資本金を持たないため、別途分類

製造業

グリーン水素をつくりだす電解槽の部品製造を行う事業者の例

オーダーメイド性の高い設備を導入することで、高い省力化効果が
見込まれる事例

導入前の課題

- 部品製造のプロセスのうち、加工材溶接の作業難易度が高く、熟練技術者による長時間の手作業に依存している。
- グリーン水素の需要が加速するなか、電解槽部品の需要も増加しており、このままでは生産対応の遅れ、ひいては顧客離れにつながる恐れがある。
- 新人が熟練技術者になるまで数年かかるため、短期間での技術者確保は困難。

導入する設備

3Dスキャナー搭載 溶接ロボット

主に、以下の要素で構成

①産業用ロボット

(可搬型ロボット、スキャナーを取り付ける)

②3Dスキャナー

(形状を自動スキャンし、溶接箇所を正確に認識できるオーダーメイド機器)

③溶接機

④ポジショナー

(溶接機の角度や向きを調整する)

導入後の効果

- 熟練技術者に依存していた属人的な溶接工程を自動化・標準化。
- 生産性向上と品質確保が可能となる。これにより人手不足を解消するとともに、工場全体の生産能力を大幅に引き上げることが可能となる。
- 余剰人員は、品質管理業務や、顧客対応などの部門に再配置することで、品質の安定性向上や受注率改善に繋げることができる。

注)

・この資料は、今後、省力化補助金（一般型）の申請を検討されている事業者の皆様向けに、申請のイメージがわくよう、参考として、第1回公募において実際に採択された事業計画の概要をお示しするものです。

・ここでお示しする事業計画の概要は、事業者から提出のあった事業計画を事務局にて短縮・要約等して加工したものであり、実際に提出された事業計画書とは異なります。

・なお採択審査においては、様々な観点から総合的に審査をさせていただきますので、ここで紹介した事業計画と同様の事業計画を提出したとしても、不採択となる可能性がありますのでご注意ください。

建設業

一連の業務プロセスを全て自動化
することで、高い省力化効果が
見込まれる事例

鉄筋加工・組立工事を行う事業者の例

導入前の課題

- 鉄筋加工工程の一部が人手による作業に依存している。
- 特に、加工機に対して、紙図面を元にした加工指示を手入力で入れていることで、人為ミスが多発している。
- 現場で手戻りが発生してしまい、コスト増加や工期遅延が生じることもある。

導入する設備

CAD図面

(デジタル図面処理作成・加工帳自動作成システム)

加工指示書QRコードシステム

(①で作成した加工指示データをQRコード化して加工機にスキャンすることで、瞬時に加工機への加工指示入力が完了するソフト)

鉄筋加工機

(自動曲装置)

導入後の効果

- 自動化による人的ミスが削減でき、無駄なコストを削減できるだけでなく、品質・精度向上による顧客満足度の改善に繋がる。これによりリピート受注率の増加や新規案件の受注が期待できる。
- ベテラン技術者の人的リソースは、技術継承・新規案件対応力に振り向ける。

注)
・この資料は、今後、省力化補助金（一般型）の申請を検討されている事業者の皆様向けに、申請のイメージがわくよう、参考として、第1回公募において実際に採択された事業計画の概要をお示しするものです。
・ここでお示しする事業計画の概要は、事業者から提出のあった事業計画を事務局にて短縮・要約等して加工したものであり、実際に提出された事業計画書とは異なります。
・なお採択審査においては、様々な観点から総合的に審査をさせていただきますので、ここで紹介した事業計画と同様の事業計画を提出したとしても、不採択となる可能性がありますのでご注意ください。

小売業

青果物の卸売・加工・出荷を行う事業者の例

複数の汎用設備を組み合わせることで、高い省力化効果が
見込まれる事例

導入前の課題

- 主力商品である青果の加工業務を手作業に依存している。
- 品質・歩留まりのバラつきが発生することや、人員確保が難しいことが課題。
- 青果加工業務に人手が取られていることで、新商品開発や販路拡大の人的リソースが残っていない。

導入する設備

オートフルーツカッター

(カット・皮むき・芯抜きを一貫で行い、課題の廃棄処理も自動化)

オートラベラー

(価格表示ラベル貼付を自動化)

※複数の汎用品を、既存の生産ラインに組み込むために一部カスタマイズを施して導入

導入後の効果

- 既存生産ラインに組み込みカスタマイズすることで、高い省力化効果を発揮。
- カットフルーツ加工工程の自動化による労働力不足の解消を図る。これにより新製品開発や販路開拓に注力し、売上増を目指す。

注)

・この資料は、今後、省力化補助金（一般型）の申請を検討されている事業者の皆様向けに、申請のイメージがわくよう、参考として、第1回公募において実際に採択された事業計画の概要をお示しするものです。

・ここでお示しする事業計画の概要は、事業者から提出のあった事業計画を事務局にて短縮・要約等して加工したものであり、実際に提出された事業計画書とは異なります。

・なお採択審査においては、様々な観点から総合的に審査をさせていただきますので、ここで紹介した事業計画と同様の事業計画を提出したとしても、不採択となる可能性がありますのでご注意ください。

宿泊業

一連の業務プロセスを全て自動化
することで、高い省力化効果が
見込まれる事例

旅館業を営む事業者の例

導入前の課題

- 宿泊客の受付予約管理業務が、手作業によるパソコンへの入力作業が中心。
- フロントで予約者を待たせる時間も多く、フロント係全体での作業時間がボトルネックとなっている。

導入する設備

宿泊業務一元管理システム

(宿泊管理システムを導入。予約管理・フロント・顧客管理から会計機能までをシステム連動、リアルタイムでのデータ反映・予約状況の更新を可能とした)

導入後の効果

- 予約管理・会計・顧客管理・HP運用の一元化によりフロント業務を効率化・省力化。
- 予約時に食事メニューの要望を事前に聞き取ったり、宿泊後の礼状を送るなど、電話受付では十分にできなかったサービス提供ができるようになる。
- 空いた人員を付加価値の高い業務に振り向けることで、宿泊件数と客単価の増加が見込める。

注)

・この資料は、今後、省力化補助金（一般型）の申請を検討されている事業者の皆様向けに、申請のイメージがわくよう、参考として、第1回公募において実際に採択された事業計画の概要をお示しするものです。

・ここでお示しする事業計画の概要は、事業者から提出のあった事業計画を事務局にて短縮・要約等して加工したものであり、実際に提出された事業計画書とは異なります。

・なお採択審査においては、様々な観点から総合的に審査をさせていただきますので、ここで紹介した事業計画と同様の事業計画を提出したとしても、不採択となる可能性がありますのでご注意ください。

飲食業

複数の汎用設備を組み合わせ導入することで、高い省力化効果が
見込まれる事例

フードデリバリー事業や外食事業など複数の業態を営む事業者の例

導入前の課題

- 複数の業態・店舗ごとの調理工程・サービス基準に差異がありオペレーションが煩雑化。人材育成・品質維持にコストがかかり、顧客満足度にも影響。
- 飲食業界における人材確保難による人件費の高騰に加え、原材料費、燃料費の上昇が収益を圧迫。
- コロナ禍を経て飲食デリバリー関連の新規参入が増加し、競争環境が激化。

導入する設備

オートフライヤー

(温度の自動制御)

ドゥメイクマシン

(ピザ生地自動生成器。均一な品質と成形時間の短縮)

ベーカリースキャン

(パンの自動識別機。会計業務の省力化)

ろ過機付自動給油式
電気フライヤー

(廃油処理・油交換時間の削減)

導入後の効果

- フライヤーやドゥメイクマシンの導入により、調理工程を自動化し、複数業態のオペレーションの煩雑さの軽減につながる。また、店舗ごとの品質を一定にし、顧客満足度の向上にもつながる。
- 調理・後片付け工程を効率化し少人数でも安定した生産体制を整備し、リソースをリーダー・スタッフ教育に振り向け、組織力を強化。
- 油の効率利用や省エネ効果で原材料費、燃料費を抑制し、リソースを販促・企画立案に振り向け、競合他社との差別化を強化。

注)
・この資料は、今後、省力化補助金（一般型）の申請を検討されている事業者の皆様向けに、申請のイメージがわくよう、参考として、第1回公募において実際に採択された事業計画の概要をお示しするものです。
・ここでお示しする事業計画の概要は、事業者から提出のあった事業計画を事務局にて短縮・要約等して加工したものであり、実際に提出された事業計画書とは異なります。
・なお採択審査においては、様々な観点から総合的に審査をさせていただきますので、ここで紹介した事業計画と同様の事業計画を提出したとしても、不採択となる可能性がありますのでご注意ください。

運輸・郵便業

海外から製品を輸入し、日本国内での倉庫保管・配送事業を営む事業者の例

複数の汎用設備を組み合わせることで、高い省力化効果が
見込まれる事例

導入前の課題

- 人手不足により倉庫の1/4のスペースが活用できていない。
- 貨物搬入から倉庫保管までの間に発生する大量の作業（積み卸し、仕分け、納品数の確認、パレタイズ等）を担う人手が不足している。
- 倉庫に届く貨物（船便・航空便）のうち、航空便は船便に比べて多品種少量での納品のため、少品種多量の船便より仕分けや数量の確認の手間を要することから、受注を断っている。

導入する設備

搬入貨物自動仕分け設備

主に、以下の要素で構成

①高精度測定装置

（事前に貨物に貼り付けられたQRコードを読み込み、貨物の種類を自動で識別し、貨物の情報をレーン下流側の選別機に連携。あわせて貨物の数量をカウント）

②選別機

（貨物を種類ごとに、適切なレーンに振り分け）

※複数の汎用品を、既存の生産ラインに組み込むために一部カスタマイズを施して導入

導入後の効果

- 機械設備が仕分け、数量確認を自動で行うため、人手での仕分け作業、目視での数量確認が不要になる。
- 活用できていなかった空きスペースを活用できるようになり、また、自動仕分けや数量カウントが可能になることで航空便にも対応することができるようになるため、売上が上がる。
- 余剰人員を新規顧客開拓や倉庫業務以外の業務に配置転換することで、新たな付加価値を生み出せる。

注)

・この資料は、今後、省力化補助金（一般型）の申請を検討されている事業者の皆様向けに、申請のイメージがわくよう、参考として、第1回公募において実際に採択された事業計画の概要をお示しするものです。
 ・ここでお示しする事業計画の概要は、事業者から提出のあった事業計画を事務局にて短縮・要約等して加工したものであり、実際に提出された事業計画書とは異なります。
 ・なお採択審査においては、様々な観点から総合的に審査をさせていただきますので、ここで紹介した事業計画と同様の事業計画を提出したとしても、不採択となる可能性がありますのでご注意ください。

生活関連サービス業（理容業・美容業・クリーニング業・冠婚葬祭業）

一連の業務プロセスを全て自動化することで、高い省力化効果が
見込まれる事例

店舗型クリーニング業を営む事業者の例

導入前の課題

- 最低限の人数（3～4名）でシフトを組んでやりくりしているため、ピーク時には顧客を長時間待たせてしまうことが多い。
- 有人受付のため、店舗の営業時間外は受注ができない。
- クリーニング工場から戻ってきたクリーニング品を、顧客ごとにハンガーをひとまとめにし引取日ごとに並び替える作業に、膨大な時間と手間が取られている。

導入する設備

クリーニング受付ロボット

（24時間無人対応可能な受付用ロボット）

クリーニングお渡しロボ

（クリーニング完了後の製品を無人で引き渡せるロボット。顧客情報に基づいて自動でクリーニング品が運ばれてくる。コンベアはオーダーメイドで設置）

キャッシュレス専用レジ

（お渡しロボットや専用アプリ等と連動）

導入後の効果

- 一連のクリーニング業務がほぼ全て自動化でき、1店舗あたり2名体制で事業が回るようになる。
- 24時間365日、クリーニングの受付ができるようになることで、これまで営業時間外で利用できなかった新規顧客を獲得できるようになる。
- 余剰人材は集配サービスに配置換えすることで、集配サービスの需要を新規獲得できる。

注）
・この資料は、今後、省力化補助金（一般型）の申請を検討されている事業者の皆様向けに、申請のイメージがわくよう、参考として、第1回公募において実際に採択された事業計画の概要をお示しするものです。
・ここでお示しする事業計画の概要は、事業者から提出のあった事業計画を事務局にて短縮・要約等して加工したものであり、実際に提出された事業計画書とは異なります。
・なお採択審査においては、様々な観点から総合的に審査をさせていただきますので、ここで紹介した事業計画と同様の事業計画を提出したとしても、不採択となる可能性がありますのでご注意ください。

その他サービス業（自動車整備業・ビルメンテナンス業）

オーダーメイド性の高い設備を導入することで、高い省力化効果が
見込まれる事例

自動車板金塗装業を営む事業者の例

導入前の課題

- 人材不足により、受注できる自動車塗装台数が限られており、塗装依頼を断るケースが多発。（月平均20台以上）
- 塗装工程において、特に乾燥・ゴミ取り・磨きの工程に作業員の時間が取られており、各工程の自動化が必要。
- 自動車整備業界の人材不足は深刻で、求人を出しても増えない（かつ、優秀な人材は他社との奪い合いで高賃金などの好条件でないと確保できない）

導入する設備

塗装ブース

（天井全面フィルターの塗装ブース。クリーンな環境で作業ができ、仕上がりの向上、ゴミ取り・磨き工程の時間の大幅な短縮に寄与）

パネル式IR乾燥システム

（特殊パネルによる赤外線ランプを用いて温度を自動管理でき、急速乾燥による時間の短縮、塗装面の仕上がり向上に寄与）

導入後の効果

- 塗装ブースを導入することで、ゴミやチリが極めて少ないクリーンな環境での塗装作業が可能となり、ゴミ取り・磨き工程の作業時間を大幅に短縮。
- 温度管理が可能な急速乾燥システムを導入することで、最も時間のかかる乾燥工程の自動化を実現。作業員の作業時間を大幅に削減。
- 受注台数を増やし、売上拡大を図る。さらには従業員の賃上げ、優秀な人材確保につながる。

注）
・この資料は、今後、省力化補助金（一般型）の申請を検討されている事業者の皆様向けに、申請のイメージがわくよう、参考として、第1回公募において実際に採択された事業計画の概要をお示しするものです。
・ここでお示しする事業計画の概要は、事業者から提出のあった事業計画を事務局にて短縮・要約等して加工したものであり、実際に提出された事業計画書とは異なります。
・なお採択審査においては、様々な観点から総合的に審査をさせていただきますので、ここで紹介した事業計画と同様の事業計画を提出したとしても、不採択となる可能性がありますのでご注意ください。